

気候関連開示（公開草案） 産業別開示要求 【バイオ燃料（RR-BI）産業編】

2022年6月

SSBJ設立準備委員会 事務局

※不許複製・禁無断転載：
公開草案の原文及び日本語仮訳は、IFRS財団の著作物となります。
複製及び使用の権利は厳しく制限されております。

- ❖ 本資料は、2022年3月31日にIFRS財団から公表されたIFRS S2号公開草案「気候関連開示」の付録B「産業別開示要求」のうち、**バイオ燃料（RR-BI）産業に関連する部分の概要**についてご説明することを目的としています。
- ❖ 本資料では、当該付録B「産業別開示要求」に関し、以下の事項について記載しています。
 - ▶ 産業別開示要求の構成
 - ▶ 指標の**技術的プロトコル**（定義、範囲、適用及び調製に関するガイダンス）において、「shall（～しなければならない）」「shall not（～してはならない）」と記載されている事項を**太字**で記載しています。
 - ▶ 上記以外の事項でも、当該事項に即した開示を行うに際して**特に有用であると当事務局が判断した事項**を記載しています（そのため、すべての事項について記載しているわけではありません）。
 - ▶ 産業別指標を開示するまでの流れ

本資料は、IFRS財団のホームページにおいて公表された当該付録B「産業別開示要求」の日本語仮訳をもとに、SSBJ設立準備委員会事務局が作成したものです。

本資料における意見に係る部分は、あくまでも当委員会のスタッフ個人の見解であり、当委員会の公式見解ではございません。

S2基準案の付録B「産業別開示要求」は、産業ごとに以下が記載されている

産業の説明	<ul style="list-style-type: none">❖ 関連するビジネスモデル、基礎となる経済活動、一般的なサステナビリティ関連の影響 (impacts) 及び依存関係 (dependencies) 、並びに当該産業への参加に特徴的な他の共有される特徴を定義することにより、適用範囲を明確にすることを意図している
開示トピック及びトピックサマリー	<ul style="list-style-type: none">❖ 開示トピックとは、特定の産業内の企業によって行われる活動に基づいて、特定のサステナビリティ関連のリスク又は機会を定義するもの❖ 経営又は経営の失敗が企業の企業価値にどのように影響するかについての簡単な説明 (トピックサマリー) が含まれる
指標	<ul style="list-style-type: none">❖ 開示トピックに付随し、個別に又は1セットの一部として、特定の開示トピックのパフォーマンスに関する有用な情報を表示するように設計されている
技術的プロトコル	<ul style="list-style-type: none">❖ 定義、範囲、適用及び調製に関するガイダンスを提供する
活動指標	<ul style="list-style-type: none">❖ 企業による特定の活動又はオペレーションの規模を定量化するもの❖ データを正規化して比較を容易にするため、指標と組合せて使用することを意図している

**産業名
(68産業)**

衣服、装飾品及び履物

産業の説明

産業に関する記述

「衣服、装飾品及び履物」産業には、男性用、女性用及び子供用の衣類、ハンドバッグ、宝石、時計及び履物を含むさまざまな製品の設計、製造、卸売及び小売に関わる企業が含まれる。製品の大部分が新興市場のベンダーによって製造されることにより、この産業に属する企業が主として設計、卸売、販売促進、サプライ・チェーンの管理及び小売といった活動に焦点を当てることを可能にしている。

サステナビリティ開示トピック及び指標

表 1. サステナビリティ開示トピック及び指標

開示トピック

指標

トピック	指標	カテゴリー	測定単位	コード
原材料調達	優先原材料の調達に関連する環境及び社会リスクの記述	説明及び分析	該当なし	CG-AA-440a.1
	環境又は社会サステナビリティ基準（又はこの両方）の第三者認証を受けた原材料の割合（基準ごとに）	定量	重量ごとのパーセンテージ(%)	CG-AA-440a.2

「衣服、装飾品及び履物」産業は、綿、革、羊毛、ゴム、並びに貴重な鉱物及び金属など、最終製品の主要なインプットとして多数の原材料に依存している。

気候変動、土地利用、資源不足、及び当該産業のサプライ・チェーンが事業を展開する地域での紛争に関連するサステナビリティの影響(impacts)は、産業において原材料を調達する能力をこれまで以上に形成している。

潜在的な原材料不足、供給停止、価格変動及び風評リスクを管理する企業の能力は、透明性に欠けることが多いサプライ・チェーンを通じて地理的に多様な地域から原材料を調達するため、さらに困難になっている。

この問題の効果的な管理を行わないことは、**利益の減少、収益成長率の抑制又は資本コストの増加（又はこれらのすべて）につながる**可能性がある。さまざまな原材料を調達することに関連するリスクの種類に応じて、サプライヤーへの関与、透明性の向上、認証基準の使用又は革新的な代替原材料の使用（又はこれらのすべて）を含め、さまざまな解決策が必要になる可能性がある。

最も積極的な企業は、**ブランドの評判を向上させ、新しい市場機会を開拓する一方で、価格変動や潜在的な供給停止にさらされるリスクを減らす**可能性が高い。

コード： CG-AA-440a.1	指標： 優先原材料の調達に関連する環境及び社会リスクの記述	測定単位： 該当なし
1 1.1	<p>優先原材料の調達から生じる環境及び社会リスクを管理するための戦略的アプローチを説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> • 優先原材料：企業の主要製品に不可欠なもの • 主要製品：過去3会計年度のいずれかにおいて連結売上高の10%以上を占めたもの 	
2	企業が優先原材料をどのように識別したかに関する方法を含める	
4	優先原材料は、当該原材料を直接購入したか、サプライヤーを通じて購入したかに関わらず開示する	
7	<p>綿花を優先原材料の一つとして識別した場合、以下を説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> • 水ストレスのある綿花栽培地域に対する脆弱性 • これらの地域から綿花を調達することによる価格変動のリスクをどのように管理しているか 	

コード	活動指標	カテゴリー	測定単位
CG-AA-000.A	(1)Tier 1サプライヤーの数	定量	数
	(2)Tier 1の先のサプライヤーの数	定量	数

- Tier 1サプライヤー：報告企業と直接取引するサプライヤー
- Tier 1の先のサプライヤー：報告企業のTier 1サプライヤーにとって重要なサプライヤー

Tier 1の先のサプライヤーのデータが仮定、見積り、又は他の不確実性を含む方法に基づいているかを開示しなければならない

気候関連の産業別指標を開示するまでの流れ(1)

適切な産業の 選択

- ❖ S2基準案の付録B「産業別開示要求」B1巻からB68巻は、SASBスタンダードの「Sustainable Industry Classification System®」(SICS®)のうち、気候関連の指標がある**11セクター・68産業**で編成されている
- ❖ 企業は、単一又は複数の産業を識別しなければならない(S2基準案 B8項)
- ❖ 企業が複数の産業にまたがる可能性が高い、幅広い活動に参加している場合、複数の産業別要求事項を適用する必要がある可能性がある(S2基準案 B9項)

重大なリスク 及び機会の識別

- ❖ 企業は、企業がさらされている**重大な (significant) 気候関連のリスク及び機会**を識別し、記述しなければならない(S2基準案 第9項(a))
- ❖ その際に、企業は、産業別開示要求(付録B)の中の「**開示トピック**」(特定の産業のリスク又は機会が定義されている)を参照しなければならない(S2基準案 第10項)

指標の特定

- ❖ 企業は、「戦略」に関する要求事項を満たすための開示を作成する際、産業横断的指標カテゴリー及び**開示トピックを伴う産業別指標の適用可能性**を参照し、考慮しなければならない(S2基準案 第11項)
- ❖ 一般目的財務報告の利用者が、重大な (significant) 気候関連のリスク及び機会を企業がどのように測定し、モニタリング及び管理するのかについて理解できるよう、企業は、**付録 B「産業別開示要求」において定められている産業別指標を開示**しなければならない(S2基準案 第19項、第20項(b))
- ❖ 企業は、企業がさらされている**気候関連のリスク及び機会を適正に表示する**という視点を持って、関連するフルセットの産業別要求事項を**すべて参照**しなければならない(S2基準案 B16項)

(次頁に続く)

気候関連の産業別指標を開示するまでの流れ(2)

(前頁からの続き)

指標の特定

- ❖ 定量的情報の開示に係る産業別要求事項が、産業横断的指標カテゴリー（S2基準案 第21項(a)から(e)）に関連する開示の要求事項を満たすか確認し検討しなければならない（S2基準案 付録B B15項）

産業横断的指標カテゴリー
（S2基準案 第21項）

- (a) 温室効果ガス排出
- (b) 移行リスク
- (c) 物理的リスク
- (d) 気候関連の機会
- (e) 資本投下
- (f) 内部炭素価格
- (g) 報酬

産業横断的指標カテゴリーの開示に
用いられる産業別指標の例

- (c)物理的リスク
農産物産業における、水ストレスのある地域から供給される主要作物の割合
- (d)気候関連の機会
化学製品産業における、使用段階の資源効率を考慮して設計された製品から生じた売上高

重要性
(Materiality)

- ❖ 企業は、特定された指標及び目標が企業の企業価値を評価する上で情報の利用者にとって重要性がある（material）と結論付けた場合、特定の要求事項に関連する情報を開示しなければならない（S2基準案 付録B B6項）
- ❖ IFRSサステナビリティ開示基準で要求される特定の開示に重要性がない（not material）場合には、提供する必要はない（S1基準案 第60項）

バイオ燃料 Biofuels (RR-BI)

「バイオ燃料」産業は、バイオ燃料を生産し、その生産のために原材料を加工する企業により構成される。

バイオ燃料は有機化学原料を用いて製造され、主として輸送燃料として使われる。

企業は典型的には農産物の流通業者から、食品、油料穀物、及び動物製品を含む原料を調達する。最も広く生産されているバイオ燃料はエタノールとバイオディーゼルであるが、他の種類としてはバイオガス、バイオ水素及び合成バイオ燃料があり、さまざまな有機化学原料を用いて生産される。

バイオ燃料企業の顧客は、主として燃料混合を行う企業及び燃料供給を行う企業であり、これには大手総合石油企業も含まれる。

バイオ燃料は世界中で生産されているが、バイオ燃料産業の上場企業は主として米国においてオペレーションを行っており、一部の企業は米国外、特にインド、ブラジル及び韓国で小さなオペレーションを行っている。

再生可能燃料の使用に関連する政府の規制が、この産業の需要を著しく左右する要因である。

トピック	コード	指標
製造における水管理	RR-BI-140a.1	<ul style="list-style-type: none"> (1)総取水量 (2)総消費水量 (3)総取水量及び(2)総消費水量のうち、ベースライン水ストレスが「高い」又は「極めて高い」地域の割合
	RR-BI-140a.2	<ul style="list-style-type: none"> 水管理リスクの記述並びに当該リスクを軽減するための戦略及び実務の説明
	RR-BI-140a.3	<ul style="list-style-type: none"> 水質の許可、基準及び規制に関連する違反事案 (incidents of non-compliance) 件数
ライフサイクル排出量バランス	RR-BI-410a.1	<ul style="list-style-type: none"> バイオ燃料のタイプ別のライフサイクル温室効果ガス (GHG) 排出量
原料生産の調達及び環境上の影響 (impacts)	RR-BI-430a.1	<ul style="list-style-type: none"> 原料生産の環境上の影響 (impacts) に伴うリスク管理戦略についての説明
	RR-BI-430a.2	<ul style="list-style-type: none"> 環境サステナビリティ基準の第三者認証を受けたバイオ燃料生産の割合
法規制環境の管理	RR-BI-530a.1	<ul style="list-style-type: none"> 政府プログラムを通じて受け取った補助金額
	RR-BI-530a.2	<ul style="list-style-type: none"> 産業に影響を及ぼす (affecting) 環境及び社会要因に対応した政府規制又は政策提言 (又はこの両方) に関する企業の地位についての説明

バイオ燃料の精製は、通常、水を大量に消費する。バイオリ精製所では、原料の処理、発酵、蒸留及び冷却に水が必要である。

バイオリファイナリーでの水の使用は、原料作物の生産中に消費される量に比べてあまり多くないが、集中的に使用されるため、**地域の水資源に影響 (impacts) を与える**場合がある。

施設は、塩類、有機化合物、溶存固形物、リン及びその他の物質を含む廃水を生成する場合もあり、廃水処理が必要である。

また、バイオ燃料精製所は、**水の入手可能性の低下、関連するコストの増加又はオペレーション停止のリスクにさらされる**場合がある。

精製のオペレーションによる水源の汚染と同様に、精製を目的とした特定の地域からの水の採取も、**規制上のリスク及び地域コミュニティとの緊張を生み出す**可能性がある。

そのため、オペレーションにおける水の効率性及び廃水の適切な処理は、バイオ燃料企業のパフォーマンスにとって重要な (important) 要素である。

コード： RR-BI- 140a.1	指標： (1)総取水量	測定単位： 千立方メートル (m ³)
1	すべての水源から引き出された水の量を、千立方メートル単位で開示する	
1.1	水源には、以下を含める： <ul style="list-style-type: none"> • 地表水（湿地、河川、湖及び海からの水を含む） • 地下水 • 企業が直接収集及び貯留した雨水 • その他の企業、地方自治体の水道供給者、又はその他の水道事業者から取得した廃水 	
2	例えば、取水量の大部分が非淡水源からのものである際は、その供給を水源別に開示する場合がある	
2.1	淡水は、企業が営業を行う地域の法令に従って定義する場合がある 法令による定義がない場合、淡水は、百万分の1,000未満の溶解固形物を含む水とみなす	
2.2	各法域の飲料水規制に準拠して水道事業者から取得した水は、淡水の定義を満たすとみなす	

コード： RR-BI- 140a.1	指標： (2)総消費水量	測定単位： 千立方メートル (m ³)
3	オペレーションで消費した水の量を千立方メートル単位で開示する	
3.1	消費水量の定義は以下のとおり；	
3.1.1	<ul style="list-style-type: none"> 取水、使用及び排水中に蒸発する水 	
3.1.2	<ul style="list-style-type: none"> 企業の製品又はサービスに、直接的又は間接的に組み込まれる水 	
3.1.3	<ul style="list-style-type: none"> その他、取水源と同じ集水域に戻らない水（別の集水域又は海に戻る水など） 	

コード： RR-BI- 140a.1	指標： (1)総取水量及び(2)総消費水量のうち、ベースライン水ストレスが「高い」又は「極めて高い」地域の割合	測定単位： パーセンテージ(%)
4	世界資源研究所（WRI）の水リスクアトラス（Water Risk Atlas）ツールであるAqueduct（アキダクト）によって、ベースライン水ストレスが「高い（40～80%）」又は「極めて高い（>80%）」と分類された場所で取水及び水消費する活動を識別する	
5	ベースライン水ストレスが「高い」又は「極めて高い」場所で取水した水について、総取水量に対する割合を開示する 計算式の例：ベースライン水ストレスが「高い」又は「極めて高い」場所での取水量 ÷ 総取水量	
6	ベースライン水ストレスが「高い」又は「極めて高い」場所で消費した水について、総消費水量に対する割合を開示する 計算式の例：ベースライン水ストレスが「高い」又は「極めて高い」場所での消費水量 ÷ 総消費水量	

コード： RR-BI- 140a.2	指標： 水管理リスクの記述並びに当該リスクを軽減するための戦略及び 実務の説明	測定単位： 該当なし
1	取水、水消費並びに排水又は廃水に関連する水管理リスクを記述する	
4	<p>水管理リスクを軽減するための短期及び長期の戦略又は計画について説明する これには以下を含むが、これらに限定されない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 4.1 • 戦略、計画、ゴール又は目標（又はこれらの複数のもの）の範囲 4.2 • 優先する水管理のゴール又は目標（又はこの両方） 4.3 • それらのゴール又は目標（又はこの両方）に対するパフォーマンスの分析 4.4 • 計画、ゴール又は目標（又はこれらの複数のもの）を達成するために必要な活動及び投資 4.4 • 計画又は目標（又はこの両方）の達成に影響を与える可能性のあるリスク又は制限要因 	
4.4	戦略、計画、ゴール又は目標の開示は、報告期間中に進行中（アクティブ）又は完了した活動に限定する	

コード： RR-BI- 140a.2	指標： 水管理リスクの記述並びに当該リスクを軽減するための戦略及び 実務の説明	測定単位： 該当なし
5	<p>水管理の目標について、追加で以下を開示する</p> <ul style="list-style-type: none"> 5.1 • 目標が絶対量ベース又は原単位ベースのいずれであるか 5.2 • 目標が原単位ベースである場合は指標の分母 5.3 • 水管理計画のタイムライン（開始年、目標年及び基準年を含む） 5.3.1 • 目標を達成するためのメカニズム（以下を含む） <ul style="list-style-type: none"> ➤ 効率化に関する取組み（efforts） 5.3.2 ➤ 製品のイノベーション 5.3.3 ➤ プロセス及び機器のイノベーション 5.3.4 ➤ 水の使用、リスク及び機会を分析するためのツール及びテクノロジーの使用 5.3.5 ➤ 地域又は他の組織とのコラボレーション又はプログラム 5.4 • 基準年からの削減率又は改善率。基準年は、目標の達成に向けて、水管理の目標が評価される最初の年である 	
6	<p>水管理の実務が、組織内でライフサイクルへの影響（impacts）又はトレードオフを新たにもたらしたかどうかを説明する（土地利用、エネルギー生産及び温室効果ガス（GHG）排出のトレードオフを含む）</p> <p>ライフサイクルのトレードオフにもかわらず、企業がこれらの実務を選択した理由についても説明する</p>	

コード： RR-BI- 140a.3	指標： 水質の許可、基準及び規制に関連する違反事案 (incidents of non-compliance) 件数	測定単位： 数
1	<p>違反事例 (instances of non-compliance) の総数を開示する これには以下を含むが、これらに限定されない</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術ベースの基準への違反 (violation) 定性ベースの基準の超過 	
3	<p>開示の範囲には、正式な執行措置につながった違反事案 (incidents of non-compliance) のみを含める</p>	
4	<p>違反 (violations) は、測定方法又は頻度にかかわらず開示する 以下に係る違反 (violations) を含む。</p>	
4.1	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な排出 (discharge)、制限、基準及び禁止事項で、一般的に日平均の最大値、週平均の最大値及び月平均の最大値で表されるもの 	
4.2	<ul style="list-style-type: none"> 非継続的な排出 (discharge) 及び制限で、一般的に頻度、総質量、最大排出率及び特定の汚染物質の質量又は濃度の観点で表されるもの 	

世界のバイオ燃料生産の急速な成長は、輸送燃料からのGHG 排出量の純量の削減及び化石燃料への依存度の低減を目指す政府のエネルギー政策によるところが大きい。

世界中の主要な再生可能燃料政策の多くにおいて、バイオ燃料は、化石燃料のベースラインと比較してライフサイクルにわたる GHG 排出の削減を達成し、再生可能燃料の使用義務の閾値を満たす必要がある。

バイオ燃料のライフサイクル排出量の計算には、原料作物の生産及び土地の利用からの間接的及び直接的な排出量、燃料精製、燃料及び原料の輸送、並びに車両から排出される排出量を含めることがある。

バイオ燃料生産者は、エネルギー管理（燃料の使用）、プロセスのイノベーション、及び排出プロファイルの低い原料の使用を通じて、精製プロセス中における排出量の純量に直接影響を与える（influence）ことができる。

排出量の純量の削減を達成する燃料製品は高度なバイオ燃料とみなすことができ、米国及び欧州での既存のバイオ燃料に関する使用義務に基づいて、**将来の需要増加の対象となる**場合がある。

製品の炭素排出量の純量を費用対効果の高い方法で削減するバイオ燃料企業は、**競争力のある製品優位性を獲得し、売上を成長させ、市場シェアを拡大する**場合がある。

コード： RR-BI- 410a.1	指標：バイオ燃料のタイプ別のライフサイクル温室効果ガス（GHG）排出量	測定単位： メガジュール（MJ）あたりのCO ₂ 換算グラム数
1 1.1	<p>生産するバイオ燃料のカテゴリーごとのライフサイクルGHG排出量（メガジュールあたりのCO₂換算のグラム単位）を開示する</p> <p>ライフサイクルGHG排出量（定義）：原料の生成又は抽出から、完成燃料の流通及び提供を通じ、最終的な消費者及び燃料の使用に至るまで、燃料及び原料の製造及び流通のすべての段階を含む、燃料ライフサイクル全体に関連したGHG排出（直接排出、及び土地利用の変更による重大な（significant）排出等の重大な（significant）間接排出を含む）の合計</p>	
1.2	<p>生産するバイオ燃料のタイプごとにライフサイクルGHG排出量を開示する</p> <p>バイオ燃料のタイプには、以下を含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 再生可能燃料 • 先進バイオ燃料 • バイオディーゼル • セルロース系バイオ燃料 	
2	<p>計算に用いた法域の基準又は規則を開示する</p>	

原料生産の調達及び環境上の影響 (impacts)

「バイオ燃料」産業は、生産用の原材料としてさまざまな植物ベースの原料を利用している。大半の企業は、農業生産者及び流通業者から原料を購入している。

現在、世界の耕地でバイオ燃料作物が占める割合が増えている。持続不可能な栽培実務は、森林破壊及び生物多様性の喪失、土壌の劣化、水質汚染等、負の環境外部性を持つ可能性がある。

これらの要因は、短期的及び長期的に原料作物の収量に悪影響を及ぼす (affect) 可能性がある。

これは、バイオ燃料生産者向けの原料の価格及び入手可能性に影響を与える (influence) 可能性がある。

したがって、認証又はサプライヤーとの対話等を通じて、サプライチェーンのサステナビリティを検証することは、バイオ燃料生産者にとって重要な (important) 考慮事項である。

コード： RR-BI- 430a.1	指標：原料生産の環境上の影響（impacts）に伴うリスク管理戦略についての説明	測定単位： 該当なし
1	<p>原料生産に伴う環境上の影響（impacts）及び規制上のリスクを管理するための戦略を説明する</p> <p>そのリスクには以下を含む場合があるが、これらに限定されない</p>	
1.1	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動の影響（impacts）によって生じる原料供給及び価格設定へのリスク 	
1.2	<ul style="list-style-type: none"> サプライヤーの環境衛生上の影響（impacts）に関連する、長期的な原料供給へのリスク 	
1.3	<ul style="list-style-type: none"> 規制によって生じる制約 	
3	<p>清浄な水資源の入手可能性を、原料供給又は価格設定（又はこの両方）のリスクとして識別する場合、水ストレスを伴う原料栽培地域に対する脆弱性及びこれらの地域からの原料を調達することによる価格変動のリスクをどのように管理しているかを説明する</p>	
4	<p>原料生産に関連するリスク又は機会（又はこの両方）を管理するためのアプローチを記述する（規制によって生じる制約並びに入手可能性及び価格の制限に関するものを含む）</p>	

コード： RR-BI- 430a.2	指標：環境サステナビリティ基準の第三者認証を受けたバイオ燃料生産の割合	測定単位： ガロン数のパーセンテージ (%)
1	<p>環境サステナビリティ基準の第三者認証を受けたバイオ燃料の生産量（ガロン単位）について、バイオ燃料の総生産量（ガロン単位）で除した割合を計算する</p> <p>計算式の例：第三者認証を受けたバイオ燃料の生産量 ÷ バイオ燃料の総生産量</p>	
2	<p>環境サステナビリティ基準には、以下のほか、同等の基準を持つその他の基準を含める</p> <ul style="list-style-type: none"> • Bonsucro、the Council on Sustainable Biomass Production (CSBP) • International Sustainability & Carbon Certification (ISCC) • Roundtable on Sustainable Biomaterials (RSB) • Roundtable on Responsible Soy (RTRS) 	

「バイオ燃料」産業は、政府の政策及び規制に大きく依存している。政府の政策及び規制は、市場の需要を生み出し、税制優遇措置及びその他の原料生産への支援によって供給を動機付けている。

したがって、「バイオ燃料」産業は、再生可能燃料政策、生産税額控除及び原料生産に関連する特定の規制及び政策を支援している。

規制による支援は、バイオ燃料市場を支援することで**短期的な利益をもたらす**可能性があるが、原料及びバイオ燃料の生産による潜在的かつ**長期的な環境上の悪影響（impacts）**は、**有益な政策を覆し、規制環境をより不確実にする**場合がある。

その結果、バイオ燃料企業は、長期的にサステナブルなビジネスの結果と整合し、環境の外部性を考慮した、規制当局に関与するための**明確な戦略を開発**することで、**便益を得る**可能性がある。

コード： RR-BI- 530a.1	指標：政府プログラムを通じて受け取った補助金額	測定単位： 報告通貨
1	<p>報告年度中に政府プログラムを通じて受け取った補助金の額を開示する</p> <p>補助金には、以下を含む</p> <ul style="list-style-type: none"> • 混合税及び生産税などの税額控除 • 研究開発などのプロジェクトへの資金提供 • 輸入関税 • 直接支払 • 資本補助金 • 融資及び融資保証 • 政府の省庁又はプログラムから受け取ったその他の金銭的支援 	
4	<p>会計処理方法に関係なく、報告年度中に認識された合計金額として補助金の金額を開示する</p>	

コード： RR-BI- 530a.2	指標：産業に影響を及ぼす (affecting) 環境及び社会要因に対応した政府規制又は政策提言 (又はこの両方) に関する企業の地位についての説明	測定単位： 該当なし
1 1.1 1.2	<p>重大な (significant) 財務的影響 (impact) を与える場合のある環境及び社会要因に関連する、法律、規制又はルール形成 (又はこれらの複数のもの) (以下、総称して「法規制環境」と呼ぶ) に関連して直面するリスク及び機会を識別する</p> <p>この範囲には、既存、新規及び既知の将来のリスク並びに機会を含む</p> <p>この範囲には、国、州、及び地方レベルで国内及び国際的に存在する場合のあるリスク及び機会を含む</p>	
4	<p>SASBの「バイオ燃料」基準に含まれる、企業のビジネスに関連し、重大な (significant) 財務的影響 (impact) を与える場合のあるトピックに関連する法規制環境の各側面に関連するリスク及び機会を管理するための取組み (efforts) について説明する</p>	
5 5.1 5.2 5.3	<p>法規制環境に影響を与える (influence) ための取組み (efforts) に加えて、識別した法規制環境の各側面に関連するリスク及び機会を管理するための全体的な戦略について説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> • ビジネス構造又はビジネスモデルに加えた又は予定している変更 • 新たな技術又はサービスの開発 • オペレーション・プロセス、統制又は組織構造に加えた又は予定している変更 	

